

■10月28日

エアアジア・ジャパン (LCC)、1年3か月の就航に幕

ANAホールディングス傘下の格安航空会社 (LCC) で、11月にバニラ・エアに社名変更するエアアジア・ジャパンは10月26日、現社名での運航を終えた。

成田から最終便、札幌行きJW8527便には142名が搭乗し、運航開始から1年3カ月が過ぎ、約95万人が利用したエアアジアブランドは、12月からバニラ・エアとして再出発を図る。

エアアジア・ジャパンは、マレーシアのLCC大手エアアジアと全日本空輸 (現・ANAホールディングス) が出資して設立。2012年8月、成田空港を拠点に就航したが利用率が伸びず、6月にエアアジアとの合併を解消した。

(産経ニュース) 10/29

<http://sankei.jp.msn.com/life/news/131026/trd13102619550011-n1.htm> (->

<http://sankei.jp.msn.com/life/news/131026/trd13102619550011-n1.htm>)

PEACH (LCC) 井上社長、成田新路線開設の目的、ネットワークと潜在需要掘り起こし

成田線就航を目前にしたピーチ・アビエーションの井上慎一最高経営責任者 (CEO) は、森田健作知事を表敬訪問し、「首都圏にネットワークを築き、潜在需要を掘り起こす」と新路線開設の目的を語った。

また、「(既設路線を利用した)お客さまに首都圏の方が多く、乗り継ぎ需要もあるとみている」ことも明らかにした。

成田—関空線は、1日2往復で10月27日に開設し、来年1月10日から三往復に増便を計画している。

(東京新聞) 10/26

<http://www.tokyo-np.co.jp/article/chiba/20131026/CK2013102602000140.html> (-> <http://www.tokyo-np.co.jp/article/chiba/20131026/CK2013102602000140.html>)

PEACH (LCC)、関空—成田線運航開始、関東圏初の進出

ピーチ・アビエーションは27日、関空—成田線の運航を開始した。同社にとっては14番目の路線で、関東圏への就航は今回が初めて。初便の、関空発は180名の満席、成田からは158名が搭乗した。

同日の会見で、ピーチ・アビエーションCEOの井上慎一氏は、ターゲットは旅行や親族訪問などを目的にした、20代から30代の女性層がメイン。関空経由の乗り継ぎ需要も見込んでいるとし、成田就航の理由を「就航以前から東京のお客が多かったため、ニーズがあると認識していた」と説明した。

同路線は予約が想定以上に好調だったことから、就航前に現在の2便から、来年1月10日は1日3便に増便を発表している。その一方、成田から関空線以外の路線展開については「今のところはない」とした。また販売方法に関しては、WEBでの予約が、現在は95%を占めているが、旅行会社を排除するものではなく、利用者のニーズを踏まえフレキシブルに対応していく意向だという。

(トラベルビジョン) 10/27

<http://www.travelvision.jp/news/detail.php?id=59353> (-> <http://www.travelvision.jp/news/detail.php?id=59353>)

(peach プレスリリース) 10/27

観光庁、訪日外国人、滞在中の情報にスマホ利用、LCC就航で個人客。若者増加が背景

観光庁に調査によると、日本を訪れる外国人観光客の多くは、滞在中の観光情報をスマートフォンから得ている傾向があることが分かった。

日経によると、スマホを活用する割合は43%と1年前に比べて約20ポイント上昇した。パソコンを上回り、情報源としては最大。格安航空会社(LCC)の相次ぐ就航で、アジアからの個人旅行者や若者の訪日客が増えている背景があるとみられる。

4～6月の調査によると、韓国や台湾など東アジアからの訪日客のうちスマホ利用者は44%。パソコンを使う割合(29%)より多い。29歳以下では54%に達し、若年層ほどスマホ利用が多い。

個人旅行者の方が団体旅行者よりも利用が多いこともわかった。観光庁は「飲食店やホテルなど外国人客の取り込みをめざす企業はスマホ対応を迫られそうだ」とみている。

(日経)10/26

http://www.nikkei.com/article/DGXNASDF26006_W3A021C1NN1000/ (->
http://www.nikkei.com/article/DGXNASDF26006_W3A021C1NN1000/)

広島県議会、広島空港駐車場料金—引き下げを求める動き

広島県は25日の県議会決算特別委員会で、広島空港の県営駐車場の2012年度の収入が約7800万円に上ったことを明らかにした。県議から料金の引き下げを求める声が上がリ、県は検討する姿勢を示した。

中国新聞によると、県営駐車場は空港ターミナルビルの北側に2カ所あり、計1238台を収容。普通車を1日駐めた場合の料金は800円。一度減額しており、03年度までは千円だった。

12年度の収入は、指定管理者への委託料2850万円を差し引き7791万円。記録が残る04年度以降は7千万～9千万円台で推移し、収入は県の一般財源となっている。

一方、岡山空港の県営駐車場は一部を除き無料。岩国錦帯橋空港でも、山口県や地元企業でつくる第三セクターが運営する駐車場は、航空機搭乗者を無料としている。

(中国新聞)10/26

<http://www.chugoku-np.co.jp/News/Tn201310260021.html> (-> <http://www.chugoku-np.co.jp/News/Tn201310260021.html>)

札幌市、FDAによる丘珠空港への小型ジェット機乗り入れ、住民説明会実施

札幌市は26日、フジドリームエアラインズが11月16日に、丘珠空港で初めてとなる小型ジェット旅客機のチャーター便を運航に関しての市民説明会を開いた。

説明会で市は、テスト飛行の際に実施した騒音調査の結果が、国の環境基準を下回る数値だったと説明。11月はテスト時と同型のERJ170(76席)で名古屋・小牧空港間を1往復し、丘珠空港には午後1時半に着陸、同2時50分に離陸することを明らかにした。

説明会にはFDAの社員も出席し、冬季運航について「雪があれば1500メートルの滑走路では飛べない」と述べ、11月の運航時も降雪時は丘珠への着陸を中止するとした。

丘珠空港は滑走路が1500メートルと短く、ジェット機は発着できないとされていたが、小型ジェット機の性能向上で可能になった。FDAは7月に客を乗せずにテスト飛行し、安全性を確認している。

(北海道新聞)10/28

<http://www.hokkaido-np.co.jp/news/donai/500453.html> (-> <http://www.hokkaido-np.co.jp/news/donai/500453.html>)

(->) 香港エクスプレス(LCC)、香港発のLCCとして就航、日本路線、来年新規2路線開設計画

(日経によると)

香港を拠点とする初の格安航空会社(LCC)、香港エクスプレスが27日に就航した。同社はフルサービス型の航空会社として2005年から営業し、今年6月にLCC転換を宣言。27日から台湾の台中やタイのプーケットなど香港からアジア各地の短・中距離便の運航を開始した。11月には羽田空港と関西国際空港にも乗り入れる。

同社のアンドリュー・コーウェン副最高経営責任者(CEO)は27日、香港国際空港で日本経済新聞に「(LCC転換の)宣言以降、予想を超える13万席以上を販売した」と述べた。6機のエアバス「A320」を、予定を繰り上げて来年投入すると表明。

具体的な地名は言及しなかったが、「来年は少なくとも日本であと2カ所就航したい」と語った。日本を含めて「現在の8路線から、20か25路線に増やせそう」との見通しを示した。

(日経)10/27

http://www.nikkei.com/article/DGXNASGM27006_X21C13A0FF8000/ (->
http://www.nikkei.com/article/DGXNASGM27006_X21C13A0FF8000/)

成田空港、カーフェュー内運航発生状況、9月まで28件

成田国際空港で今年3月31日から始まったカーフェューの(23時～6時の運用時間制限)弾力運用で、9月28日までに28件の運用が行われたことがわかった。1ヵ月平均4～5便のペースで、以前は欠航がダイバートで他空港へ着陸せざるを得なかった便を救済できたことになる。

因みに成田空港を拠点とするLCCの運用回数は、ジェットスター・ジャパン1回、エアアジア・ジャパン2回となっている。

また、日刊航空によると、申請数については、半年で約100件程度(9月24日までに計99件)が提出されていたことが明らかになった。つまり、申請したものの3分の2以上は、結果的には本来の23時までの運用時間内で発着を終えた。

(日刊航空)10/28

<http://www.da-news.co.jp/xhp/today.htm> (-> <http://www.da-news.co.jp/xhp/today.htm>)

(NAA HP)

<http://www.naa.jp/jp/csr/curfew/soft/2013-curfew.pdf> (-> <http://www.naa.jp/jp/csr/curfew/soft/2013-curfew.pdf>)

ジェットスター・ジャパン(LCC)、初年度平均搭乗率72%

ジェットスター・ジャパンの運航初年度(2012年7月—2013年6月)の平均搭乗率は72%だったことが明らかになった。また、2013年7月は65.4%、8月は82%、9月の搭乗率は76.9%で推移している。

(日刊航空)10/28

<http://www.da-news.co.jp/xhp/today.htm> (-> <http://www.da-news.co.jp/xhp/today.htm>)